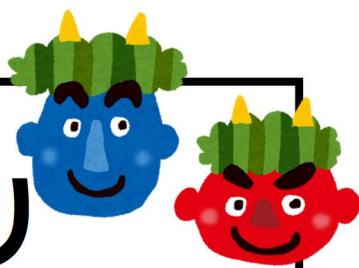


令和6年度



赤羽根の里だより



茅ヶ崎市立赤羽根中学校 学校便り

令和7年2月3日(月)

校長 高橋 励

～保護者の皆さまへ～

らいこう ご来校ありがとうございました。

—1,2年生授業参観・懇談会—

寒い中、足をお運びいただきありがとうございました。お越しいただいた皆さまには各学年の懇談会でこんな話をさせていただきました。

……3年生との面接の中である生徒からこんなことを訊ねられました。

「この学校で3年間過ごせてとてもよかったと思っておりますが、そんな学校になるために校長先生はどんなことをしてくれたのですか？」

この問いにこんな答えを返しました。

「校長は何もできてはいませんね。でも、もし、あなたがよかったと感じてくれているのであれば、それは近くでかかわった先生たち一人ひとりががんばってくれたおかげでしょう。そして、学校のよさはそこで暮らす人たちが作るもの。学校で一番多いのはあなたたち生徒ですから、よい3年間だったのであれば上級生や下級生を含めたあなたたちがよくしてきたのだと思います。」

また、こんな話もさせていただきました。

「3年生の多くが“尊敬する人”として“父母(特に母)”を挙げています。子どもの成長の一番の支えはご家庭だと改めて感じました……。」

* * * * *

1,2年生は、今週半ばで後期期末テストの1週間前を迎えます。子どもたち一人ひとり、それぞれの目標に挑めるように、ココロとカラダのケアとサポートをお願いします。また、ご家庭で気にかかることがありましたら、担任・学年までお聞かせください。一緒に考えていきたいと思っております。

最後に「保護者と教師の会」学年代表の皆さま、「制服リサイクル」の企画・運営ありがとうございました。学校職員だけではなかなかこのような取り組みの実施は難しいのですが、保護者の皆さまにご協力いただくことで、学校の活動を豊かにすることができます。

今月22日(土)の「ふれあい講座・中学生と大人のつどい」もその一つ。ご理解とご協力をお願いいたします。

“AKABANE“の風景

～職員室前廊下に掲示された各学年の書き初めの「金」の作品です～

